

## 《吉岡知哉先生業績目録》

### 一 単 著

ジャン＝ジャック・ルソー論

(一九八八年 東京大学出版会)

### 二 共 著

民主主義思想の源流(有賀弘・佐々木毅編)

「構想と夢想のはざまに——ルソーにおける制度——」

(一九八六年 東京大学出版会)

モダーンとポスト・モダーン(小野紀明編)

「マルクスの批判——『ユダヤ人問題によせて』をめぐる——」

——

(一九九二年 木鐸社)

ジャン・ジャック・ルソー——政治思想と文学(市川慎一編)

編)

「理性のあらゆる相の下——ルソーの方法をめぐる——」

(一九九三年 早稲田大学出版部)

フランス文学(渡邊守章・柏原康夫・石井洋二郎編)

「7 啓蒙思想と文学(1)——「光の世紀」の文学」

(二〇〇三年 放送大学教育振興会)

ルソーを学ぶ人のために(桑瀬章二郎編)

「第7章 政治制度と政治——『社会契約論』をめぐる——」

(二〇一〇年 世界思想社)

### 三 論 文

一九八〇年

ルソーの政治思想に関する一考察——批判の精神と理論構成

の特質(1)

國家學會雜誌第九三卷五・六号

ルソーの政治思想に関する一考察——批判の精神と理論構成

の特質(2)

國家學會雜誌第九三卷七・八号

一九八一年

ルソーの政治思想に関する一考察——批判の精神と理論構成

の特質(3完)

國家學會雜誌第九四卷五・六号

一九八三年

宗教批判の構図——試論・ルソーにおける宗教——

立教法学二二号

一九九〇年

ルソーと政治——“ECONOMIE POLITIQUE”をめぐる——

立教法学三四号

一九九二年

ルソー — 狂人たちのただなかで —

政治思想史における平和の問題（年報政治学四三巻）

（日本政治学会編）

一九九五年

アンシアン・レژیーム期フランスの政治思想における国家と

家族

立教法学四二号

一九九九年

「バジリアード」試論 — アンシアン・レژیームとユートピア

ア—

立教法学五二号

二〇〇二年

アンシアン・レژیームにおける国家と宗教

立教法学六一号

二〇〇九年

「アンシアン・レژیームと革命」における政治と宗教

立教法学七六号

エミールとセラ豆

思想一〇二七号（ジャン・ジャック・ルソー問題の現在

——作品の臨界をめぐって）

#### 四 討論・報告・座談会

一九九七年

国家と宗教研究会より 社会契約説と宗教

東洋学術研究第三六巻第一号

一九九九年

政治と宗教研究会より 宗教組織と政治参加

東洋学術研究第三八巻第二号

二〇〇〇年

座談会 法学部の現在、そして未来（井上治典、高橋信隆、

吉岡知哉、西尾洋介、武藤祥、福田真理子、西川夏子、

福田佳子、菅原淳一）

法学周辺二七号

二〇〇四年

政治と宗教研究会より 啓蒙期フランスにおける宗教と政治

東洋学術研究第四三巻第二号

二〇〇九年

座談会 ルソーの不在、ルソーの可能性（ジャン・ジャック

ク・ルソー問題の現在 — 作品の臨界をめぐって）（桑

瀬章二郎、坂倉裕治、吉岡知哉）

思想一〇二七号

名誉教授 座談会（野村浩一、所一彦、栗原彬、淡路剛久、

吉岡知哉、高橋信隆、松田宏一郎、神橋一彦）

立教大学法学部の五〇年 一九五九—二〇〇九

二〇一二年

週刊エコノミスト一九九一年二月五日号

「近代化と宗教」研究会より 宗教から国家へ——信仰

一九九二年

簡条としての近代政治原理

書評 ミシエル・ヴォヴェル『フランス革命と教会』

東洋学術研究第五一卷第一号

週刊エコノミスト一九九二年九月八日号

五 書評

一九七八年

一九九四年

紹介 ドウニーズ・ルデユク『ファイエット著「ジャンロジ

書評 ウィリアム・E・コノリー『政治理論とモダニティ』

ヤック・ルソーと古典古代の神話」(Denise Leduc-

書評 樋口陽一『近代国民国家の憲法構造』

Fayette, Jean-Jacques Rousseau et le mythe de l'antiquité,

週刊エコノミスト一九九四年九月一三日号

1974)

二〇〇〇年

一九八〇年

國家學會雜誌第九一卷第七・八号

書評 Johnson Kent Wright, A Classical Republican in

学界展望

Berki, R.N.: The History of Political Thought—A

Eighteenth-Century France: The Political Thought of

Short Introduction, 1977

Mably

日本18世紀学会年報第一五号

國家學會雜誌第九三卷第七・八号

二〇〇二年

一九八六年

書評 秩序と革命——ルソーをめぐる二つの著作——

政治的夢想の不幸について 小野紀明「フランス・ロマン主

政治思想研究第二号(政治思想学会編)

義の政治思想」

思想七四四号

六 事典等の項目

一九九一年

一九八四〜一九八五年

書評 決して死なないために闘う——ギー・ド・ロスチャイ

「一般意志」ほか一二項目

ルド『ロスチャイルド自伝』

平凡社 大百科事典(平凡社)

一九八八年

「キヴィタス」ほか五項目

社会学事典（弘文堂）

三本のフィルム、三人のボガート

季刊リユミエール一四号

二〇〇八年

「ルソー」の項目

解説

『福田歓一著作集 第六卷「ルソー・ルソーを巡って」』

岩波書店

岩波社会思想事典（今村仁司・三島憲一・川崎修編、岩波書店）

（その後、福田歓一『ルソー』（岩波現代文庫 二〇二二年）に所収されるにあたって若干の加筆）

二〇一四年

「ジャン＝ジャック・ルソー」の項目

〈異邦人〉ルソー

西洋政治思想資料集（杉田敦・川崎修編、法政大学出版局）

言葉のうえで国家を建てる

青淵（渋沢青淵記念財団竜門社）

## 七 その他

一九八五年

「来れ」と言ふを聞けり 「ペイルライダー」をめぐって

一九九一年

ゼミや基礎文に積極的に参加するためにまずテキストをきちんと読んでみよう

学士會会報七八六号

一九八七年

声と現象 あるいは反時代的な慎ましき 「ハートブレイクリ

一九九三年

夭折した三人の映画作家の遺作

法学周辺一九号

ッジ」によせて

季刊リユミエール七号

私の採点法 ― 欧州政治思想史

法学周辺二〇号

一九八八年

闇の向こう側へ ニコラス・レイの「夜の人々」

一九九七年

パリの値段 ― 食品篇

法学周辺二〇号

季刊リユミエール一七号

パリの値段 ― 食品篇

法学周辺二四号

二〇〇七年

職業映画というジャンル  
―ハワード・ホークス『コンドル』をめぐって―

法学周辺三五号

二〇一二年

考えることの復権のために

科学五月号 (放射能汚染下の信頼)